

14 代将軍 徳川家茂の川越し

日時：8月8日(木)10:00～11:00

会場：河原町公会堂

講師：岩崎アイルトン望

(島田市博物館 学芸員)

1.大井川の川越しについて

①江戸から京までを結んだ江戸時代の大動脈「東海道」

- ・旅人が宿泊する「宿場町」（東海道には53ヶ所）→島田宿、金谷宿

②大井川の渡り方

- ・「川越人足」を雇って人力で渡る「川越し」（1696(元禄9)～1870(明治3)年)
- ・肩車越し、連台越し
- ・大井川の川の深さに応じて、毎日値段が変動するチケット「川札」「台札」
- ・なぜ大井川には橋が架けられなかったのか？
 - 1)戦争を防ぐため
 - 2)大井川の流れが速すぎて橋が流されてしまうため
 - 3)橋を架けるお金がなかったため

③川越制度の廃止（1870(明治3)年）

- ・牧之原台地の茶畑を開墾、蓬萊橋の架橋

2. 14 代将軍徳川家茂の川越し

①鎖国

- ・長崎、対馬藩、松前藩、薩摩藩を通じた海外との関り
- ・長崎…オランダを介したヨーロッパの情報獲得（出島、オランダ商館）

②文久3(1863)年 江戸幕府14代将軍 徳川家茂の上洛（=天皇の住む京（現京都府）に行くこと）

- ・ペリー来航による日本の開国
- ・朝廷（天皇）と幕府（将軍）の考えの違い → 話し合いのため上洛
- ・わざわざ東海道を通過して上洛した理由
- ・1863(文政9)年 2月23日 14代将軍徳川家茂の大井川越し